

資料①

案

日吉津小学校

地域とともにある

学校づくりをめざして



コミュニティ・スクール



日吉津小学校運営協議会

令和4年3月



コミュニティ・スクールとは

子どもたちの健全な育成に関する様々は課題解決のために、学校・家庭・地域の代表が集まり、「熟議」と「協働」を行う核となる組織として「学校運営協議会」を設置しました。

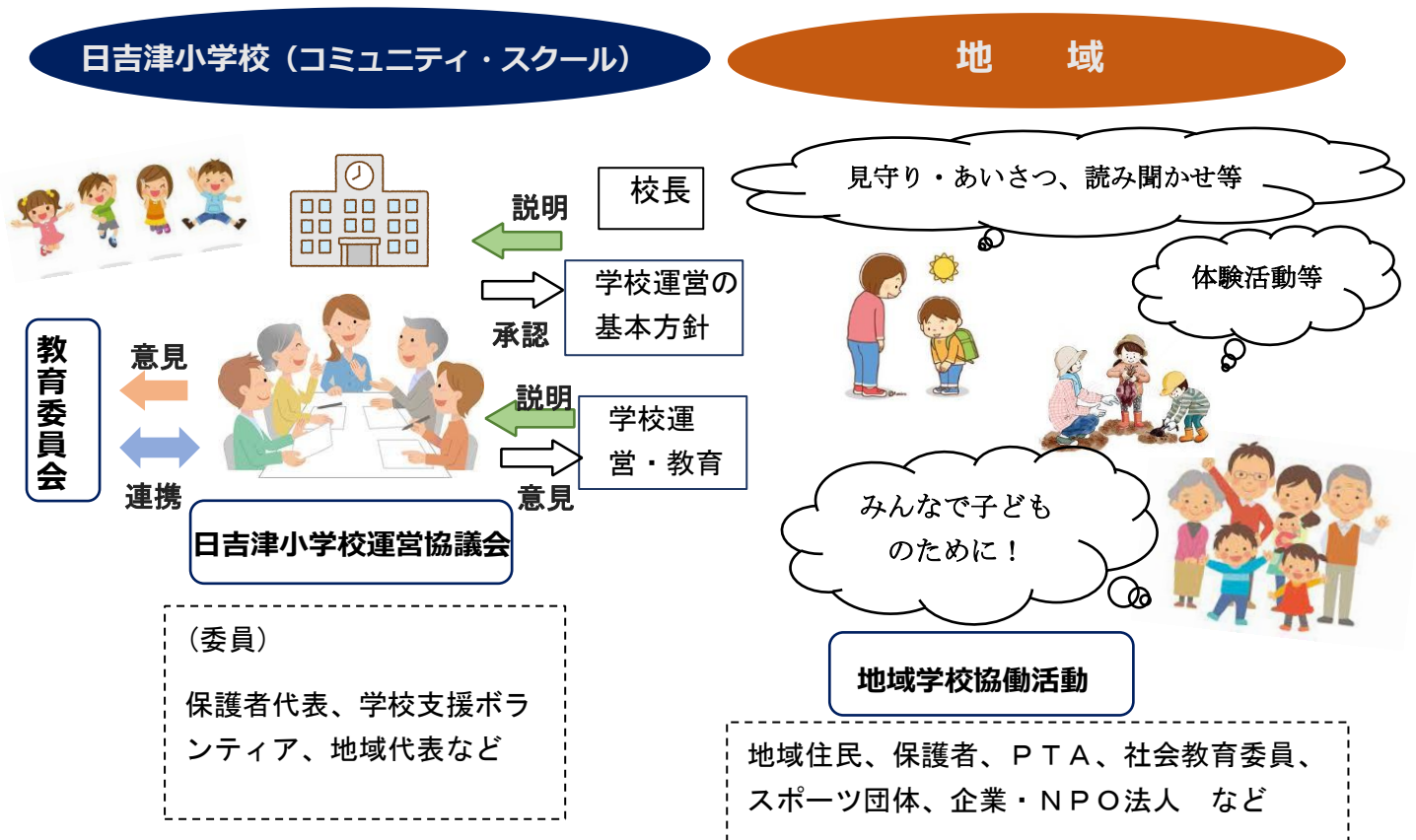
学校運営協議会を設置し、地域と協働する学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます。令和3年度より学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールコミュニティがスタートしました。

日吉津小学校では、地域と学校が連携して「地域とともにある学校づくり」を進めています。

学校運営協議会の主な3つの機能

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型の活動のことをいいます。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、まず関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議(※)等がその役割を果たします。その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。



※「熟議」とは：多くの当事者が「熟慮」と「議論」によって問題解決を目指す対話のこと

熟議を行いました

参加者：保護者、学校関係ボランティア、学校運営協議会委員、教職員等



○実施日：令和2年9月29日 ○テーマ：「めざす子どもの姿」

—めざす子どもの姿— (主な意見)

- ・あいさつ、返事がきちんとできる子
- ・マナー 約束を守れる子
- ・自分の思いや考えが言える子
- ・人に好かれる子
- ・自信が持てる子 (100m完泳、行事等を経験し)
- ・チャレンジする子

○実施日：令和3年11月19日 ○テーマ：「私たち大人にできること」

※主な意見

- ・色々な経験をさせてあげる
- ・楽しいことをする
- ・大人がやってみせる
- ・ほめてあげる
- ・成功体験をつませる
- ・話をよく聞いてあげる
- ・小さなことでもほめる
- ・失敗から学び、やってきた過程に自信をもたせる
- ・地域へのまつりの参加
- ・やっていいこと、いけないことをしっかり教える
- ・朝の挨拶の徹底
- ・本をたくさん読む
- ・動物(自然)とのふれあえる機会をつくる
- ・愛情をもって全ての事に関わる
- ・「ありがとう」を伝える
- ・体験活動(農業、料理など)
- ・昔の遊びを伝える(一緒に遊ぶ)
- ・故郷を愛せるように、子ども達と一緒に活動する
- ・達成感を持たせる仕組みを考える



○令和4年2月○日には、熟議ででた意見のなかで、日吉津小学校で子ども達と学校運営協議会委員が一緒に交流しました。内容は、「
」で、対象児童は、
でした。今後、
地域学校協働活動の充実につなげていきます。

地域の皆さんにお世話になっています

子どもたちの学びや体験活動の充実につながっています



体験活動・学校支援活動

通年

「子供達の笑顔を見ると私たちも元気をもらいます。」



あいさつ運動 毎月1日

通年

「子供達の顔を見て毎日が楽しいよ。」



子ども安全見守り隊

「昼読み」原則2, 4週の木曜日
「朝読み」原則1, 2, 3週の金曜日



「子供達が喜ぶように紙芝居を選んでいきます。」

読み聞かせ

「学年や季節を考えながら本を選んでいきます」



5月

「色々なことを教えてもらって苗植えができて楽しかったです。」



さつまいも苗植え (1.2年)

「穴があいているところに苗を斜めに植えます。」

「いいいもができるよ。」



「一年生と老人クラブの方と一緒に苗植えができて楽しかったです。」

6月

「土のあるところが硬さや温度が違うことを初めて知りました。土がどろどろしていて気持ち良かったです。」

「稲も1本ずつが大事な命です。愛情をこめて田植えをしてほしいと思います。」

「この稲がいろいろな困難に打ち勝ってどういう風に育つのか楽しみです。」



田植え体験（4年）

「稲を上手にまっすぐに植えることを頑張りました。」

「大豆は体にとってもいい食べ物です。豆腐やきな粉、納豆ができます。」

「ごんべえさんを押したら面白かったです。」



大豆の種まき（3年）

「手伝ってくださりありがとうございました。」

9月

「チューリップマラソンを始めたら、花はきれいで、イベントともあり楽しいので、県外からもたくさんの方が参加してくれた。今でもチューリップマラソンは続いていますね。」



「チューリップはいつから日吉津村の宝になったのですか。」

チューリップ生産者インタビュー（3年）

「こんなにたくさんの実がついたのは初めてです。一粒の種からこんなに大きく育ちました。」



「この日をずっと楽しみにしていたので、大豆のことが知れてよかったです。」



枝豆生産者インタビュー（3年）

10月

「みんなの元気な声を聞いて大豆もびっくりしています。3年生パワーはすごいです。」



「たくさんとれてうれしかったです。大豆になるのが楽しみです。」



枝豆収穫（3年）

「わらから縄を作る。この縄からわらじや草履、みのや笠などを作っていた。牛の餌にもなるので捨てる場所はない。」



「稲が生長していて驚いています。」「お米を作ってくださいの方のことを思い感謝の気持ちをもってお米を食べようと思います。」

稲刈り体験（4年）

11月

「老人クラブさんとみんなと一緒においもが掘れて良かったです。」「いっぱいとれてうれしかったです。」



さつまいもほり（1. 2年）

朝登校する時、元気な姿をみるとうれしくなります。



さつまいもパーティー（1. 2年）



たくさんの方に来てもらってうれしかったです。

12月

「全員一生懸命頑張る姿に感心しました。とても楽しかったです。」



大豆落とし（3年）



「大豆とごみを分けたり、大豆を踏んで豆を出すのが難しかったです。」

コミュニティ・スクールで期待される効果



学校



■ 子供たちにとっては

- ・学校だけでは実現できない豊かで多様な体験や学びが充実します。
- ・多くの人と関わることにより、夢と希望を持つことができます。
- ・地域の担い手としての自覚が高まります。

■ 教職員にとっては

- ・地域のみなさんの理解と協力を得た学校運営が実現します。
- ・地域のみなさんの協力により、教育活動の充実と子供と向き合う時間の確保につながります。



家庭

■ 保護者にとっては

- ・保護者同士や地域のみなさんとのよりよい人間関係が構築できます。
- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。



地域

■ 地域のみなさんにとっては

- ・経験を生かすことで、子供や地域の役にたっているという充実感につながります。
- ・学校を通して多くの人と交流することができます。
- ・学校と連携・協働して子供たちを育てることにより、地域の活性化につながります。

子ども達のために、一緒に活動しませんか。経験を生かし、地域の活性化につなげましょう。



日吉津小学校運営協議会（日吉津村教育委員会事務局内）
〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村大字日吉津 872-15
TEL 0859-27-5956 FAX 0859-27-0903